

新潟市医師会 第125回 在宅医療講座

11月13日 2020年
（金）

午後7時15分から ※開場6時45分
（閉会：午後8時30分）

講演



「新型コロナウイルス感染症の 現状と在宅療養との関わり」

押木内科神経内科医院

院長 永井 明彦 先生

会場：新潟ユニゾンプラザ4階 大研修室
（新潟市中央区上所2-2-2 TEL：025-281-5511）

主催：一般社団法人新潟市医師会（担当：横田理事）

定員：先着100名 〔ご参加いただく場合は、裏面の「申込書」をご送付ください〕

入場
無料

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大で、在宅での医療や療養に積極的に関わっている方々は感染対策の困難さを痛感しておられる方が多いことと思います。そんな中、新潟市医師会では「新型コロナ感染症相談外来」や「ホテル宿泊療養」で軽症者のオンライン診療を実施してきました。今年の6月まで医師会担当役員をしていた経験を基に、COVID-19の現状と医師会活動や「在宅療養」との関わりについて述べたいと思います。COVID-19は欧州（イタリア）株による第1波が緊急事態宣言で縮小遷延した後、変異株（東京～埼玉型）による大きな第2波が来て、それもピークを過ぎようとしています。PCR検査件数が増え、若者の感染者が多くなったために致死率は低下していますが、密が避けられない介護施設を利用する高齢者に感染が広まり犠牲者が増えてきています。講座では、日本と欧米の高齢者施設の対応の違いなども含めて議論できればと思います。

この講座は在宅医療は未経験という先生がたにもお勧めの内容です。

新潟県医師会生涯教育講座認定1.0単位

カリキュラム内容：8.「感染対策」 11.「予防と保健」